

に公協発 - 24

令和4年1月13日

にかほ市地域公共交通活性化協議会委員 各位

にかほ市地域公共交通活性化協議会  
会長 本田 雅之  
( 公 印 省 略 )

第4回 にかほ市地域公共交通活性化協議会の開催について (通知)

寒冷の候、貴職におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、日頃からにかほ市の公共交通施策に対しましてご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、第4回本協議会は、書面決議とさせていただきます。

ご審議いただく案件は以下のとおりとなりますので、別紙協議事項に署名のうえ、ご提出くださるようお願い申し上げます。

案 件 1. 令和3年度地域公共交通確保維持改善事業に関する一次評価

**提出期限 令和4年1月26日(水)まで**

○提出は、メール、FAX、郵送等 提出方法は問いません。

○補助金交付要項等に基づき、本協議会において協議を行い、承認を得たうえで、国へ報告するものとなりますので、皆様のご審議をお願いいたします。

にかほ市企画調整部まちづくり推進課  
担当：連携推進班 佐々木亮  
TEL：43-7510 FAX：62-9013  
ryou-s@city.nikaho.lg.jp

令和4年1月26日

にかほ市地域公共交通活性化協議会委員 各位

にかほ市地域公共交通活性化協会  
会長 本田 雅之  
( 公 印 省 略 )

第4回 にかほ市地域公共交通活性化協議会  
書面協議の開催結果について(報告)

大寒の候、貴職におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、日頃からにかほ市の公共交通施策に対しましてご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、過日開催いたしました令和3年度第4回本協議会・書面協議につきまして、ご多忙のところご審議いただきまして誠にありがとうございました。

ご審議いただいた結果、以下のとおり承認されましたのでご報告いたします。

ご不明な点がありましたら、事務局までご連絡ください。

1. 開催日

通知日 令和4年1月13日(木)

回答期限 令和4年1月26日(水)

2. 回答状況

委員数(会長を除く) 27名

回答数 24名

3. 協議結果

別紙

【お問い合わせ先】

にかほ市地域公共交通活性化協議会  
事務局 にかほ市役所 まちづくり推進課  
連携推進班 佐々木亮

TEL : 43-7510 FAX : 62-9013

## 別紙

令和4年1月13日付け

第4回にかほ市地域公共交通活性化協議会書面協議の結果について

### 【案件】

案件第1号 令和3年度地域公共交通確保維持改善事業に関する一次評価

承認24名・不承認 0名

### 【結果】

すべての案件は原案どおり承認されました。

### 【ご意見等】

・子どもだけでなく、高齢者の乗り方教室も開催してほしい。（駐停車禁止区間、バスの直前横断の禁止等）

→ 今後は子どもだけではなく、高齢者を含め幅広い年代の方が参加できるような会を設け、公共交通に関心を持っていただきたいと思います。

・各路線とも、昼間の利用者が少ない状況から、利用者増のため「日本ジオパーク認定の観光資源を大いに活用し、観光客の利用を増やすことが市民生活の「足」の確保、維持につながるのではないかと。今後観光部局と検討してみてもどうか。

→ 観光客の取り込みについては、二次交通の他にも、コミバス等の利用促進につながるように、観光部局とも検討させていただきます。

・山間高冷地用のバスを配置してほしい。地域交通の目指す姿について、国から辺地に指定されている地域についても強く強調してほしい。

→ 容易に導入はできませんが、今後車両更新の際に、乗車人数等を鑑み、車両を選定していきます。積雪等により遅延や欠便を余儀なくされることもあり、利用者の方にはご迷惑をお掛けしておりますが、何卒ご理解ください。

・地域的な課題、利用者の声、予算など、細かな問題が多く、見直しや工夫も必要となると思いますが、地域のための公共交通となることを願っております。

## 生活交通確保維持改善計画

### 目的・必要性

対象路線は、生活バス路線の廃止に伴う代替運行としてコミュニティバスを運行し、交通弱者の通院や買い物のための移動手段となっている。利用者の減少が続いているものの、幹線と連結している支線を確保、維持することで市民生活の「足」の確保及び外出機会の創出につながるものであり、かつ、公共交通のネットワークの再構築を図るために必要である。

### 確保・維持する系統の概要



#### 【地域内フィーダー系統】

○運行事業者：合資会社象潟合同タクシー

- ・系統数：10系統
- ・運賃：均一制200円（中学生以下、障がい者手帳保持者とその介護者1名半額）
- ・運行日：月～土（祝日、12/31～1/3を除く）※院内小出線及び大竹線は月～金

### 事業・実施主体

- ・来年度に新一年生になる園児を対象としたバスの乗り方教室を実施し、安心安全に利用していただく学習機会を創出する。（にかほ市、事業者）
- ・公共交通マップを活用した座談会等の実施（にかほ市）

### 定量的な目標・効果

【目標】 令和元年度の輸送人員実績値からそれぞれ1%以上増加を目標とする。  
院内・小出線 4,425人、大竹線 8,544人  
釜ヶ台線 9,381人、上郷長岡線 8,141人、上郷小滝線 13,372人

#### 【効果】

- ・各駅への接続による中心市街地の活性化
- ・既存公共交通との連携による効率的な運行体系の実現
- ・外出機会の増大による社会参加や地域活性化の促進
- ・病院や商業施設へのアクセス確保による生活環境の向上

### 基礎データ

- ・合併状況：平成17年に、仁賀保町、金浦町、象潟町の三町が合併
- ・人口：23,490人（令和3年12月末現在）
- ・面積：241.13平方キロメートル
- ・高齢化率：39.06%（令和3年12月末現在）
- ・協議会開催数：4回（令和2年10月～令和3年9月）

### 前回の評価結果

#### 【達成状況（結果）】

【内訳】A：4件 B：5件 C：3件 ※各系統毎

内C評価の3系統（院内・小出④、釜ヶ台線④、上郷・長岡線④）は、1運行当たりの利用者数が2人未満となり、補助対象外となった。

#### 【評価】

- ・C評価となった系統についての見直しにあっては、利用者ターゲットの利用実態、ニーズを把握し、ダイヤの見直しや運行形態のあり方も含め事業内容を精査すること。
- ・今後の年間利用者数の目標値については、直近の利用実態の分析を行い検討すること。

### 評価項目

### 実施状況、目標・効果の達成状況

#### 【実施状況等】

- ・利用需用に合わせたダイヤ改正と交通弱者を対象とする無料乗車事業により、75歳以上高齢者を中心として利用を促したが、前年度に対する利用者の増加にはつながらなかった。
- ・新型コロナウイルス感染症による学校の休校や日常生活の外出自粛の影響があった。

【実績】 院内小出線：5,017人（達成率：113%） 大竹線：7,754人（達成率：91%）  
釜ヶ台線：7,241人（達成率：77%） 上郷・長岡線：6,231人（達成率：77%）  
上郷・小滝線：11,713（達成率：88%）

【内訳】A：1件 B：2件 C：2件 ※各路線毎

※評価の判定基準

A⇒目標達成100%以上 B⇒目標達成80%以上

C⇒目標達成80%未満、又は補助対象外（1運行当たり2人未満、運行割合30%未満）

### 事業の今後の改善点

- ・昼間の便については利用者が少ない状況が続いているので、利用状況を確認しながら運行の集約・効率化の検討を行う。
- ・利用者の掘り起こしや利用機会の促進につながる研修会等の検討、実施を行う。

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年1月7日

協議会名: にかほ市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
(資)象潟合同タクシー	院内・小出線②-1 院内・小出線②-2  ・来年度に新一年生になる園児を対象としたバスの乗り方教室を実施し、安心安全に利用していただく学習機会を創出する。 ・公共交通マップを活用した座談会等の実施	<b>【前回の評価結果】</b> C評価となっていた系統についての見直しにあたっては、利用者ターゲットの利用実態、ニーズを把握し、ダイヤの見直しや運行形態のあり方も含む事業内容を精査すること。 今後の年間利用者数の目標値については、直近の利用実態の分析を行い検討すること。 高齢者向けの研修会等を実施し、利用促進を図ること。  <b>【評価結果の反映状況】</b> 令和3年4月に路線の再編を行い、利用者が少ない19時台の最終便を減便した。 研修会等を検討していたが、コロナの影響により開催に至らなかった。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 輸送人員は目標4,425人に対し、実績は5,017人 【達成率113%】 令和3年4月に路線の再編を行い、診療所への通院利用などの増加につながった。	利用ニーズを検証すると、昼間の便については利用者が少ない状況が続いているので、利用状況を確認しながら運行の集約・効率化の検討を行う。 利用者の掘り起こしや利用機会の促進につながる研修会等を検討していく。
(資)象潟合同タクシー	釜ヶ台線① 釜ヶ台線② 釜ヶ台線③  ・来年度に新一年生になる園児を対象としたバスの乗り方教室を実施し、安心安全に利用していただく学習機会を創出する。 ・公共交通マップを活用した座談会等の実施	<b>【前回の評価結果】</b> C評価となっていた系統についての見直しにあたっては、利用者ターゲットの利用実態、ニーズを把握し、ダイヤの見直しや運行形態のあり方も含む事業内容を精査すること。 今後の年間利用者数の目標値については、直近の利用実態の分析を行い検討すること。 高齢者向けの研修会等を実施し、利用促進を図ること。  <b>【評価結果の反映状況】</b> 利用者が少ない19時台の最終便について、関係自治会と減便又は路線再編の協議中であるが、未だ結論が決まっていない。 研修会等を検討していたが、コロナの影響により開催に至らなかった。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	C 輸送人員は目標9,381人に対し、実績は7,241人 【達成率77%】 通学利用の小中学生の減少により、利用者が減った。また、新型コロナウイルスによる利用者の外出自粛により、利用者の減少と推量	利用ニーズを検証すると、昼間の便については利用者が少ない状況が続いているので、利用状況を確認しながら運行の集約・効率化の検討を行う。 利用者の掘り起こしや利用機会の促進につながる研修会等を検討していく。 利用者が少ない19時台の最終便について、関係自治会と引き続き協議を行う。

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年1月7日

協議会名: にかほ市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
(資)象潟合同タクシー	大竹線① ・来年度に新一年生になる園児を対象としたバスの乗り方教室を実施し、安心安全に利用していただく学習機会を創出する。 ・公共交通マップを活用した座談会等の実施	【前回の評価結果】 今後の年間利用者数の目標値については、直近の利用実態の分析を行い検討すること。 高齢者向けの研修会等を実施し、利用促進を図ること。  【評価結果の反映状況】 研修会等を検討していたが、コロナの影響により開催に至らなかった。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 輸送人員は目標8,544人に対し、実績は7,754人 【達成率91%】 新型コロナウイルスによる利用者の外出自粛により、利用者の減少と推量	利用ニーズを検証すると、昼間の便については利用者が少ない状況が続いているので、利用状況を確認しながら運行の集約・効率化の検討を行う。 利用者の掘り起こしや利用機会の促進につながる研修会等を検討していく。
(資)象潟合同タクシー	上郷・小滝線① 上郷・小滝線③ 上郷・小滝線④ ・来年度に新一年生になる園児を対象としたバスの乗り方教室を実施し、安心安全に利用していただく学習機会を創出する。 ・公共交通マップを活用した座談会等の実施	【前回の評価結果】 C評価となっていた系統についての見直しにあたっては、利用者ターゲットの利用実態、ニーズを把握し、ダイヤの見直しや運行形態のあり方も含む事業内容を精査すること。 今後の年間利用者数の目標値については、直近の利用実態の分析を行い検討すること。 高齢者向けの研修会等を実施し、利用促進を図ること。  【評価結果の反映状況】 令和3年4月に路線の再編を行い、利用者が少ない19時台の最終便を減便した。 研修会等を検討していたが、コロナの影響により開催に至らなかった。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 輸送人員は目標13,372人に対し、実績は11,730人 【達成率88%】 新型コロナウイルスによる利用者の外出自粛により、利用者の減少と推量	利用ニーズを検証すると、昼間の便については利用者が少ない状況が続いているので、利用状況を確認しながら運行の集約・効率化の検討を行う。 利用者の掘り起こしや利用機会の促進につながる研修会等を検討していく。

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年1月7日

協議会名: にかほ市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
(資)象潟合同タクシー	<p>上郷・長岡線②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度に新一年生になる園児を対象としたバスの乗り方教室を実施し、安心安全に利用していただく学習機会を創出する。</li> <li>・公共交通マップを活用した座談会等の実施</li> </ul>	<p>【前回の評価結果】 C評価となっていた系統についての見直しにあつては、利用者ターゲットの利用実態、ニーズを把握し、ダイヤの見直しや運行形態のあり方も含む事業内容を精査すること。 今後の年間利用者数の目標値については、直近の利用実態の分析を行い検討すること。 高齢者向けの研修会等を実施し、利用促進を図ること。</p> <p>【評価結果の反映状況】 令和3年4月に路線の再編を行い、利用者が少ない19時台の最終便を減便した。 研修会等を検討していたが、コロナの影響により開催に至らなかった。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	C 輸送人員は目標8,141人に対し、実績は6,231人【達成率77%】 通学利用の小中学生の減少により、利用者が減った。また、新型コロナウイルスによる利用者の外出自粛により、利用者の減少と推量	<p>利用ニーズを検証すると、昼間の便については利用者が少ない状況が続いているので、利用状況を確認しながら運行の集約・効率化の検討を行う。 利用者の掘り起こしや利用機会の促進につながる研修会等を検討していく。</p>

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和4年1月7日

協議会名:	にかほ市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>にかほ市は、平成17年に3町が合併して誕生。秋田県南西部に位置し、日本海と鳥海山に抱かれたまちであり、人口23,490人(令和3年12月末日現在)、総面積241.13km<sup>2</sup>となっている。</p> <p>本市の公共交通は、鉄道1路線・路線バス3路線・コミュニティバス5路線・タクシー会社1社により構成されている。</p> <p>本市コミュニティバスは、平成20年の生活バス路線廃止に伴う代替運行としてコミュニティバス運行を開始し、現在では6路線の運行となっている。</p> <p>コミュニティバス運行は、交通弱者の通院や買い物のための移動手段として、きめ細やかな運行を行う一方、利用実績や地域住民からの要望等を踏まえて、運行経路の変更や運賃の引き下げ、停留所の増設など利用者の利便性の向上に努めてきた。</p> <p>しかしながら、運転免許所持者に対する自家用車の保有率は依然として高く、さらに少子高齢化・人口減少により、公共交通機関の利用者の減少がなお継続しており、行政負担の増加が見込まれている。</p> <p>また、高齢者が引き起こす交通事故に関する報道が増加しており、免許返納する高齢者の増加が想定されるとともに、自らが移動手段をもたない交通弱者は依然として存在し、地域公共交通の役割は必要不可欠となっている。</p> <p>こうしたことから、にかほ市では、持続可能な公共交通網を構築するため、平成29年3月に「にかほ市地域公共交通網形成計画」を策定したほか、平成30年7月の路線変更に伴い、全世帯に「にかほ市公共交通マップ」を配布し、新規利用者への利用促進と、新路線の内容周知を図っている。</p> <p>さらには、公共交通の利便性を高めるとともに、地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統)を活用することにより、幹線と連結している支線を確保・維持することで、市民の生活の「足」の確保及びおでかけの創出につながるものであり、且つ、公共交通のネットワークの再構築を図るためには、コミュニティバス運行は必要不可欠な地域公共交通となっている。</p>

## 地域の概要

### 1. 基礎データ

にかほ市  
人口:23,490人  
(R3.12.31現在・住民基本台帳)  
面積:241.13平方キロメートル  
過疎地域等指定:過疎  
高齢化率:39.06%  
交通会議開催数:4回  
(R2.10 ~ R3.9)

### 2. 公共交通の概況

#### 【乗合バス】

##### ①路線バス

運 行:羽後交通バス(株)  
路 線:3路線

##### ②コミュニティバス

運 行:にかほ市  
路 線:6路線

#### 【鉄道】

運 行:東日本旅客鉄道(株)  
路 線:在来線1路線、JR特急いなほ

#### 【スクールバス】

運 行:にかほ市  
路 線:6路線

路線バス利用者の減少により路線の廃止が相次ぎ、地域住民にとって必要不可欠な生活の足としてコミュニティバス等を運行しているが、持続可能な交通体系を構築するため、地域公共交通網の形成が必要となる。

### 3. 公共交通の問題点

- (1)人口減少、少子高齢化の進展による影響もあり、公共交通の利用者数が低迷している。
- (2)運行欠損の増加によりバス路線維持のための財政負担は年々増加しており、将来的に持続していくことが困難となる。
- (3)コミュニティバスの持続可能な運行体系が未構築であり、利用需要に合わせた、運行見直し、サービスの見直し改善が必要。
- (4)コミュニティバスの利用者は主に高齢者であり、一定の利用はあるものの、利用者が存在しない場合での運行もあり、業務効率化、最適化の余地がある。
- (5)高齢化、免許返納の増加に伴い。従来の公共交通を利用できない方への新モビリティサービスの検討が必要。
- (6)観光二次交通サービスとの連携が不十分。
- (7)交通事業者のドライバー不足が深刻。

#### 【路線バス】

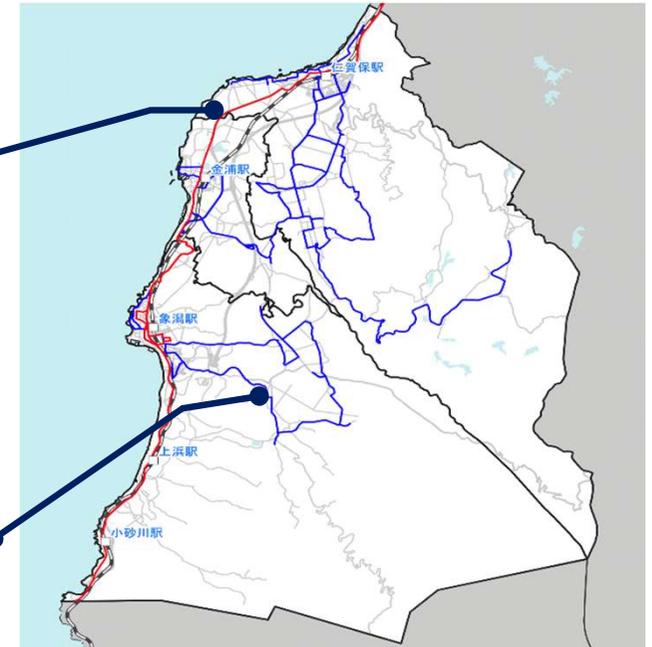
- 平均乗車密度が2.0人を下回る路線も散見され、運行内容や運行形態を見直し、効率化を図る必要がある。
- 地域間幹線系統については、補助要件漏れの可能性があり、今後も確保・維持に向けた見直しが必要。

#### 【コミュニティバス】

- 時間帯別で利用状況が異なり、利用者数も変動している。特に日中帯の利用が少ない特徴を有している。利用需要に合わせた見直しが必要。
- スクールバスと一部の路線が重複しており、重複の解消が必要。

#### 【その他】

- 市内には公共交通空白地域があり、移動に不便を感じている方に対する対応が必要
- 公共交通の担い手である乗務員不足の解消が必要
- 観光分野で移動サービスを提供しており、公共交通分野と連携が必要。



# にかほ市地域公共交通活性化協議会

## 調査内容

【事業評価時点で完了している内容】

1. 現況調査
  - (1) 地域特性の整理
  - (2) 公共交通の実態把握
2. 実態・ニーズ把握調査
  - (1) 市民アンケート調査
  - (2) バス利用者アンケート調査
  - (3) 市民民間事業者アンケート調査
3. 現計画の評価・検証
5. 協議会開催(1回)

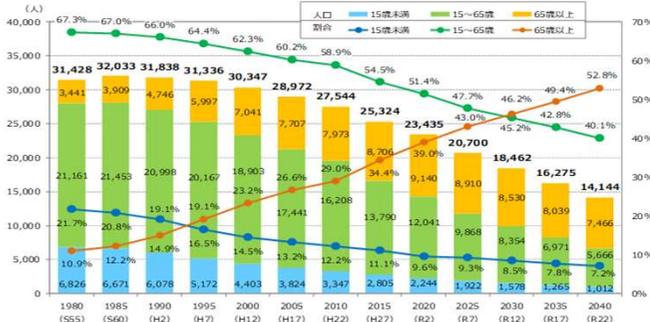
【今後予定している内容】

2. 実態・ニーズ把握調査
  - (4) 地区住民との懇談会(2月末)
4. にかほ市地域公共交通計画(案)の取りまとめ
5. 協議会の開催(残り2回)

## 調査結果概要

### 1. (1) 地域特性の整理

- にかほ市は秋田県の南西部に位置し、鳥海山、日本海を臨み、山海に囲まれ、降雪量も比較的少ない、温暖な地域である。
- 人口は年々減少傾向であり、少子高齢化は加速度的に進展している。



### 2. (1) 市民アンケート調査

- 公共交通における利用実態や市民の意見・意向を把握するために実施した。
- 【公共交通の利用実態】
- 通院や買い物需要は主に市内であり、主要3駅周辺に需要が集中している。また、主にコミュニティバスの利用割合が高い。

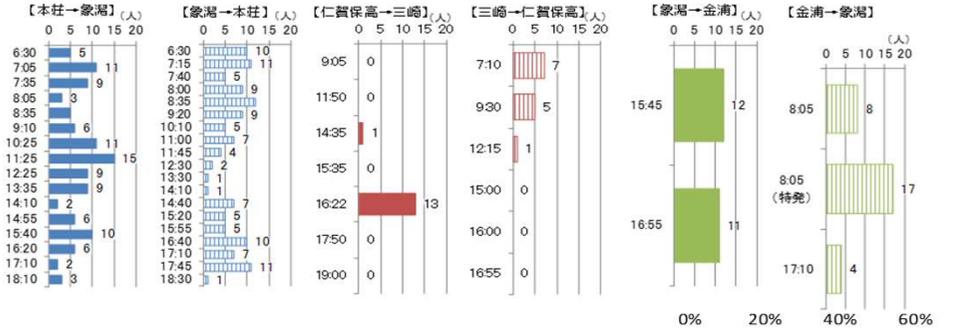
#### <課題等>

- 人口動態、行動特性を踏まえた公共交通ネットワークになっていないため見直しが課題。
- 旧町単位・生活圏で「地区間交通軸の形成」と「小需要地域へもサービス見直し」が課題。
- 自立し、持続可能な運賃体系、資金調達スキームの準備が課題。
- 鉄道・広域路線バスの経営が悪化、維持確保、継続が課題。
- 観光二次交通サービスの提供は関連計画、施策と連携・支援が課題。

<基本方針>(案): 豊かで元気な暮らしを支え、市民協働で取り組む公共交通。(将来のまちの姿を見据え、持続可能な公共交通を再構築)

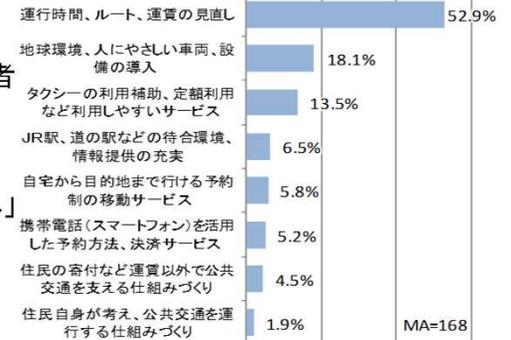
### 2. (2) バス利用者アンケート調査(路線バス)

- 運行効率化は継続的に行われている中、一部時間帯で利用車が少ない時間帯が存在する。
- 高齢者だけではなく、学生、中年層も多く利用しており、高齢者の「通院」「買い物」だけではなく、「通勤」「通学」の利用も多く見られる。



### 2. (2) バス利用者アンケート調査(コミュニティバス)

- コミュニティバスの利用者は高齢者層の利用が約7割
- 利用目的は「買い物」が一番多く、次いで「通学」となっている。
- 「運行時間、ルート、運賃の見直し」の要望する声が多く、継続的にダイヤ改正を行い、利用ニーズに沿ったダイヤとすることが必要。



<目標>(案) 目標① まちの将来像実現を支える「新たな交通サービス」の検討  
 目標② まち・ひとの変化に対応した「柔軟な交通サービス」の提供  
 目標③ 最新技術を活用した「利用しやすい交通環境」づくり  
 目標④ 多様な主体との連携を促進させ、自立可能な体制づくり

## 今後の取組みについて

【スケジュール(予定)】

- 2月中旬 第5回協議会開催
- 2月中旬 パブリックコメント実施
- 3月中旬 第6回協議会開催
- 3月下旬 公共交通計画の決定

## 【地域の交通の目指す姿】

基本目標の実現に向けた事業・プロジェクトを庁内・関係機関と協議・検討し、具体的な課題解決方法の提示、地域公共交通網の形成・再編によるまちづくりへの貢献を行う。その上で、地域公共交通確保維持改善事業の活用を検討する。

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

令和4年1月7日

協議会名:                    にかほ市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:                    地域公共交通調査事業

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定等に向けた方針
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現況調査</li> <li>・実態・ニーズ把握調査</li> <li>・現計画の評価・検討</li> </ul> <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的データの整理、現況調査などにより、地域の公共交通の状況を整理した。</li> <li>・市民アンケートやバス利用者アンケート調査等により、利用者ニーズ等を把握することができた。</li> <li>・現状の課題等を整理、把握することで、今後の方針、目標の設定をすることができた。</li> <li>・今後の協議会の検討を経て、にかほ市公共交通計画として最終的にとりまとめる。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">A</p> <p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された(される見込み)。</p>	<p>将来のまちの姿を見据え、持続可能な公共交通を再構築することを目的とし、従来通りの交通事業者、行政だけの関わりだけではなく、市民、地域や企業、学校、関係機関等の様々な主体が連携、協働した地域公共交通計画を策定する。</p> <p>また、新たな交通サービス、柔軟な交通サービスの導入を検討し、利用ニーズに沿った公共交通ネットワークの構築を見込んでいる。</p>